

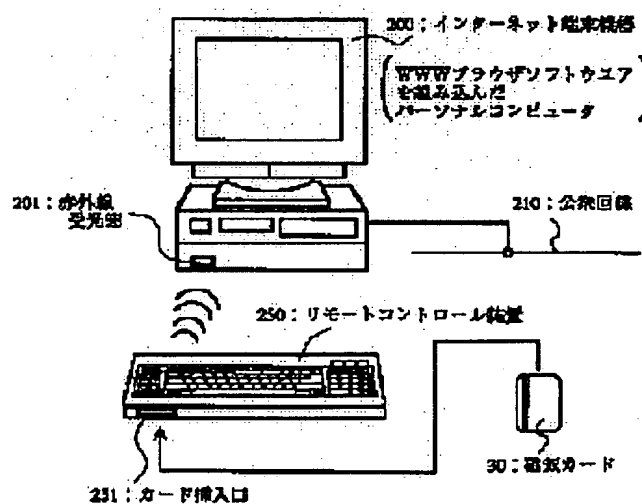
REMOTE CONTROLLER

Patent number: JP11027761
Publication date: 1999-01-29
Inventor: SAITO KENICHI; IMAMOTO TSUNEHICO
Applicant: DAINIPPON PRINTING CO LTD
Classification:
- **International:** H04Q9/00; H04Q9/00; G06K17/00; G06K19/00; H04N5/765
- **European:**
Application number: JP19970189232 19970630
Priority number(s): JP19970189232 19970630

Report a data error here

Abstract of JP11027761

PROBLEM TO BE SOLVED: To easily and accurately enter an URL code for internet use to an internet terminal. **SOLUTION:** An advertisement sponsor of a home page writes his advertisement onto a magnetic card 30, records a URL code on a magnetic recording layer, and distributes the card to general users. The user starts an internet terminal 200 to activate a WWW browser software. On the other hand, the user prepares a remote controller 250 where a magnetic card reader is incorporated in its keyboard. When the user loads the magnetic card 30 to a card insert port 251, the URL code is automatically read internally, and the URL code is sent to an infrared-ray receiving window 201 of the terminal 200 via an infrared-ray communication means. The browser software displays a corresponding home page based on the received URL code.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-27761

(43) 公開日 平成11年(1999) 1月29日

(51) Int.Cl. ⁸	識別記号	F I		
H 0 4 Q 9/00	3 1 1	H 0 4 Q 9/00	3 1 1 Q	
	3 0 1		3 0 1 E	
	3 2 1		3 2 1 Z	
G 0 6 K 17/00		G 0 6 K 17/00	L	
19/00		19/00	T	
審査請求 未請求 請求項の数 6 F D (全 8 頁) 最終頁に続く				

(21) 出願番号 特願平9-189232

(22) 出願日 平成9年(1997) 6月30日

(71) 出願人 000002897

大日本印刷株式会社

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

(72) 発明者 斎藤 憲一

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

大日本印刷株式会社内

(72) 発明者 今本 恒彦

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

大日本印刷株式会社内

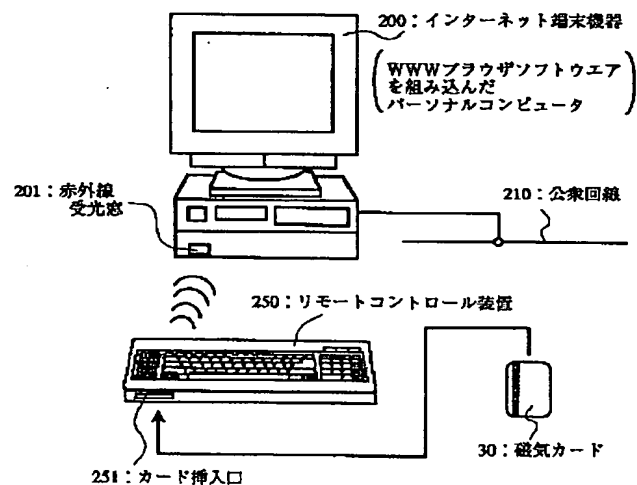
(74) 代理人 弁理士 志村 浩

(54) 【発明の名称】 リモートコントロール装置

(57) 【要約】

【課題】 インターネット用URLコードを、容易かつ正確に、インターネット端末機器に入力する。

【解決手段】 ホームページ広告主は、磁気カード30に広告を掲載するとともに、磁気記録層にURLコードを記録し、一般ユーザに配布する。ユーザは、インターネット端末機器200を起動し、WWWブラウザソフトウェアを動作させる。一方、キーボード装置に磁気カードリーダーを内蔵させたリモートコントロール装置250が用意される。ユーザが磁気カード30をカード挿入口251から挿入すると、内部でURLコードが自動的に読み込まれ、URLコードは赤外線通信手段を介して、端末機器200側の赤外線受光窓201へと伝送される。ブラウザソフトウェアは、伝送されたURLコードに基づいて、該当するホームページを表示する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 所定の機器を制御するための制御情報を、前記機器に対して遠隔位置から伝送する機能をもったリモートコントロール装置において、カード状の情報記録媒体に記録されている制御情報を読み取って入力する情報入力部と、入力した制御情報を前記機器に対して伝送する情報伝送部と、

を設けたことを特徴とするリモートコントロール装置。

【請求項2】 請求項1に記載のリモートコントロール装置において、情報入力部が、カード状の媒体に形成された磁気記録層から、磁気的に記録されている制御情報を読み取る機能を有することを特徴とするリモートコントロール装置。

【請求項3】 請求項1に記載のリモートコントロール装置において、情報入力部が、カード状の媒体に内蔵されたICメモリから、電子的に記録されている制御情報を読み取る機能を有することを特徴とするリモートコントロール装置。

【請求項4】 請求項1～3のいずれかに記載のリモートコントロール装置において、情報入力部が、ビデオの予約録画を行うために必要な制御情報を入力する機能を有し、情報伝送部が、予約録画機能をもったビデオ機器に対して制御情報の伝送を行うことを特徴とするリモートコントロール装置。

【請求項5】 請求項1～3のいずれかに記載のリモートコントロール装置において、情報入力部が、インターネットを介してアクセス可能な特定のアドレスを示す制御情報を入力する機能を有し、情報伝送部が、インターネット端末機器に対して制御情報の伝送を行うことを特徴とするリモートコントロール装置。

【請求項6】 請求項5に記載のリモートコントロール装置において、インターネット端末装置を操作するために用いるキーボード装置の筐体内に、情報入力部および情報伝送部を組み込んだ構造としたことを特徴とするリモートコントロール装置。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】 本発明はリモートコントロール装置に関し、特に、ビデオ録画機器やインターネット端末機器に対して与えるべき制御情報を、外部から取り込む機能をもったリモートコントロール装置に関する。

【0002】

【従来の技術】 外部から与えられる制御情報に基づいて動作する機器を利用する場合、制御情報の入力操作に、リモートコントロール装置を用いると便利である。たとえば、テレビジョンの放送番組などを予約録画する機能

をもったビデオ機器を利用する場合、録画の開始日時や終了日時、チャンネル指定といった制御情報を入力する必要がある。この場合、これらの制御情報をビデオ機器本体に対して直接入力する操作を行うよりは、リモートコントロール装置に対して入力操作を行った後、このリモートコントロール装置からビデオ機器本体に対して、入力した制御情報を伝送させるようにした方が、操作性が向上する。このため、現在市販されている一般的なビデオ機器には、専用のリモートコントロール装置が添付されていることが多い。ユーザは、まず、このリモートコントロール装置上に設けられたボタンを操作して、予約録画を行うために必要な制御情報をリモートコントロール装置に対して入力する。そして、所定の転送ボタンを操作すれば、入力した制御情報をリモートコントロール装置からビデオ機器本体へと転送することができる。

【0003】 また、いわゆるパーソナルコンピュータなどのインターネット端末機器に対しても、リモートコントロール装置を介した制御情報の入力が行われている。たとえば、ユーザは、リモートコントロール装置上のボタンを操作することにより、インターネット端末機器上で動作しているWWWブラウザソフトウェアに対して、簡単なコマンドを送信することができる。

【0004】 最近では、赤外線を用いた信号伝送方式の普及により、このようなリモートコントロール装置のコストダウンが図られてきており、今後も種々の機器に対して、リモートコントロール装置の利用が益々促進されるものと期待されている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 リモートコントロール装置の利用対象となる機器としては、単純な制御情報を与えるだけで大部分の操作が可能になる機器もあれば、かなり複雑な制御情報を与える必要がある機器もある。たとえば、テレビジョン受像機や、エアーコンディショニング装置などは、電源のオン/オフ制御をはじめとするいくつかの基本的な制御情報を与えるだけで、ほぼすべての必要な操作を行うことができる。しかしながら、ビデオ録画機器やインターネット端末機器などを操作するためには、ある程度複雑な制御情報を与える必要がある。

【0006】 たとえば、ビデオ録画機器に対して録画予約の操作を行うには、録画の開始日時、終了日時、チャンネル指定などの制御情報を入力しなければならない。このような複雑な制御情報をリモートコントロール装置のボタン操作によって行うことは、一般のユーザにとってはかなり煩雑な操作と言わざるをえない。このような煩雑な操作を効率化するための手法として、録画の開始日時、終了日時、チャンネルなどの制御情報を数桁からなる特殊な数字列に置き換えて入力する方法が普及し始めているが、ユーザから見れば何の意味もない単なる数字列を入力する操作になるため、誤入力が発生しやすいという問題点が指摘されている。また、番組表などに印

刷されたバーコードをリモートコントロール装置によって読み取ることにより、必要な制御情報を入力する手法も実用化されているが、通常のバーコードでは、単位長あたりの情報量が少ないため、録画予約に必要な制御情報を入力するためには、かなり長いバーコードを必要とするという問題点がある。この問題は、バーコードを高密度化することによって解決可能ではあるが、高密度のバーコードを読み取るためには、高価な読取装置が必要になるため、リモートコントロール装置自体の製造コストが高くなるという別な問題が生じることになり実用的ではない。

【0007】一方、インターネット端末機器を用いて、WWWのブラウジング操作を行う場合、アクセス対象のアドレスとなるURLを入力する必要がある。一般に、このURLには、アルファベット、記号、数字などが含まれており、かなりの長さの文字列を入力する必要がある。このようなURLを効率的に入力することができるリモートコントロール装置は、現在のところ利用されておらず、通常は、ユーザがキーボードを用いて文字列の入力を行っている。このため、ユーザは煩雑な入力作業を強いられ、また、誤入力が生じやすいという問題がある。

【0008】そこで本発明は、複雑な制御情報であっても、容易かつ正確に、対象となる機器に与えることができるリモートコントロール装置を提供することを目的とする。

【0009】

【課題を解決するための手段】

(1) 本発明の第1の態様は、所定の機器を制御するための制御情報を、この機器に対して遠隔位置から伝送する機能をもったリモートコントロール装置において、カード状の情報記録媒体に記録されている制御情報を読み取って入力する情報入力部と、入力した制御情報をこの機器に対して伝送する情報伝送部と、を設けるようにしたものである。

【0010】(2) 本発明の第2の態様は、上述の第1の態様に係るリモートコントロール装置において、情報入力部が、カード状の媒体に形成された磁気記録層から、磁気的に記録されている制御情報を読み取る機能を有するようにしたものである。

【0011】(3) 本発明の第3の態様は、上述の第1の態様に係るリモートコントロール装置において、情報入力部が、カード状の媒体に内蔵されたICメモリから、電子的に記録されている制御情報を読み取る機能を有するようにしたものである。

【0012】(4) 本発明の第4の態様は、上述の第1～第3の態様に係るリモートコントロール装置において、情報入力部が、ビデオの予約録画を行うために必要な制御情報を入力するようにし、情報伝送部が、予約録画機能をもったビデオ機器に対して制御情報の伝送を行

うようにしたものである。

【0013】(5) 本発明の第5の態様は、上述の第1～第3の態様に係るリモートコントロール装置において、情報入力部が、インターネットを介してアクセス可能な特定のアドレスを示す制御情報を入力するようにし、情報伝送部が、インターネット端末機器に対して制御情報の伝送を行うようにしたものである。

【0014】(6) 本発明の第6の態様は、上述の第5の態様に係るリモートコントロール装置において、インターネット端末装置を操作するために用いるキーボード装置の筐体内に、情報入力部および情報伝送部を組み込んだ構造としたものである。

【0015】

【発明の実施の形態】以下、本発明を図示する実施形態に基づいて説明する。

【0016】§1. 基本的な実施形態

図1は、本発明に係るリモートコントロール装置の基本的な実施形態を示すブロック図である。この実施形態では、ビデオ機器やインターネット端末装置などの制御対象となる機器10を制御するために、リモートコントロール装置20が利用されている。リモートコントロール装置20は、情報入力部21と情報伝送部22とを備えている。情報入力部21は、カード状の情報記録媒体（携帯可能な薄型の情報記録媒体）に記録されている制御情報を読み取って入力する機能をもった構成要素であり、たとえば、磁気カード30あるいはICカード40のような媒体から制御情報を読み取る処理を実行する。一方、情報伝送部22は、情報入力部21が入力した制御情報を、制御対象となる機器10に対して伝送する機能をもった構成要素であり、たとえば、赤外線などの通信手段を用いて、制御対象となる機器10に対して遠隔位置から制御情報を伝送する。制御対象となる機器10と情報伝送部22との間の通信手段は、有線、無線を問わず、どのような手段を用いてもかまわないが、本願発明者は、赤外線を用いた通信手段が現時点では最も実用的であると考えている。なお、情報入力部21および情報伝送部22に対して、それぞれ所定の動作を実行させるための操作入力を行うために、リモートコントロール装置20には、必要に応じて操作ボタンなどの入力手段を設けておくのが好ましい。

【0017】カード状の情報記録媒体として、磁気カード30を利用する場合には、情報入力部21として、磁気的な情報読取手段を用いればよい。一般的な磁気カード30には、その表面に磁性材料を印刷することにより形成された磁気記録層31が設けられており、制御対象となる機器10に与えるべき制御情報は、この磁気記録層31に磁気的に記録されていることになる。そこで、たとえば、リモートコントロール装置20の本体内に、この磁気カード30を収容する空間を形成しておき、この空間内に、磁気カード30を挿入すれば磁気記録層3

1に記録されている制御情報を読み取ることができる磁気ヘッドを用意しておけば、この磁気ヘッドにより制御情報の読み取りを行うことができる。あるいは、リモートコントロール装置20の外周部分に、磁気ヘッドを埋設しておけば、磁気カード30をこの外周部分に接触させるだけで、制御情報の読み取りが可能になる。

【0018】一方、カード状の情報記録媒体として、ICカード40を利用する場合には、情報入力部21として、このICカード40に対して電子的にアクセスすることができる手段を用いればよい。一般的なICカード40には、ICメモリ41が埋め込まれており、制御対象となる機器10に与えるべき制御情報は、このICメモリ41に格納されていることになる。外部から直接ICメモリ41に対してアクセスが可能な場合には、情報入力部21として、このICメモリ41に対して直接アクセスしてデータを読み出す処理を行う手段を用いればよい。また、CPUを内蔵したタイプのICカードでは、一般に、このCPUを介してICメモリ41をアクセスすることが要求されるので、情報入力部21としては、この内蔵CPUに対して所定のコマンドを与え、内蔵CPUを介してデータを読み出す処理を行う手段を用いればよい。

【0019】ICメモリ41から制御情報を読み出す際には、やはりICカード40をリモートコントロール装置20へ挿入するか、表面に接触させるようにすればよい。たとえば、リモートコントロール装置20の本体内部に、ICカード40を収容する空間を形成しておき、この空間内に、ICカード40を挿入すればICメモリ41に記録されている制御情報を読み出すことができるアクセス手段を用意しておけば、このアクセス手段により制御情報の読み取りを行うことができる。あるいは、リモートコントロール装置20の外周部分に、アクセス手段を埋設しておけば、ICカード40をこの外周部分に接触させるだけで、制御情報の読み取りが可能になる。

【0020】なお、ICカード40には、外部機器に対して電氣的に接触させるための端子が表面に露出しているタイプのものと、電磁波を介して外部からのアクセスを受け付けるタイプのものとがあるが、情報入力部21は、利用するタイプに応じたアクセス手段を採用すればよい。たとえば、電磁波を介してアクセスを受け付けるタイプのICカードを利用する場合には、リモートコントロール装置20とICカード40とを物理的に非接触の状態においたまま、制御情報の読み取りが可能になる。

【0021】このように、本発明に係るリモートコントロール装置を利用すれば、カード状の情報記録媒体に記録されている制御情報を、自動的に読み取り、これを制御対象となる機器に伝送することができるため、制御情報の入力操作が非常に簡単に行えるようになる。したがって、複雑な制御情報であっても、容易かつ正確に、対

象となる機器に与えることができるようになる。また、磁気カード30やICカード40などのカード状の情報記録媒体は、薄型で携帯性に優れており、種々の流通経路にも適合させやすい。このため、この記録媒体をダイレクトメールで送付したり、雑誌などに綴じ込んで配布したりすることも容易であり、広く一般ユーザに頒布しやすいというメリットを有している。特に、磁気カードは、製造コストも非常に安価であり、広告宣伝用の媒体としての利用価値が高い。以下、このような広告宣伝用の媒体として磁気カードを用いた本発明の具体的な実施形態を述べる。

【0022】§2. ビデオ機器に利用した実施形態

図2は、本発明をビデオ機器の制御に利用した実施形態を示す概念図である。この実施形態では、予約録画を行う機能をもったビデオ機器100を制御するために、本発明に係るリモートコントロール装置150が利用されている。ビデオ機器100は、赤外線受光窓101を介して、外部から与えられる赤外線信号を受信する機能を有しており、リモートコントロール装置150は、この赤外線受光窓101に向けて、赤外線信号を送信する機能(図1における情報伝送部22としての機能)を有している。また、リモートコントロール装置150の本体部分には、図示のように、カード挿入口151が形成されており、ここに磁気カード30を挿入することができる。リモートコントロール装置150の内部には、カード挿入口151内に収容された磁気カード30の磁気記録層31から、制御情報を読み取るための磁気ヘッド(図1における情報入力部21に相当)が備えられている。

【0023】この実施形態では、ユーザが磁気カード30をカード挿入口151内に挿入すると、リモートコントロール装置150内部では、自動的に制御情報の読み取りが行われる構成となっており、読み取り完了時には、「ピー」という確認音が提示される。ユーザは、続いて、このリモートコントロール装置150をビデオ機器100の赤外線受光窓101に向け、上面に設けられた所定の操作ボタン(制御情報の転送ボタン)を押す操作を行えばよい。リモートコントロール装置150から、赤外線受光窓101に向けて、磁気カード30から読み取った制御情報が赤外線信号として伝送される。

【0024】このような機能をもったリモートコントロール装置150を用意しておけば、ビデオ機器100に対する録画予約の操作は、非常に簡単に、かつ正確に行うことができるようになる。すなわち、予約対象となる番組についての、録画開始日時、録画終了日時、チャンネルなどの複雑な制御情報を記録した磁気カード30を入手することができれば、ユーザは、この磁気カード30をリモートコントロール装置150内に挿入し、所定の転送ボタンを押すだけの操作で、録画予約の設定を行うことが可能になる。従来のように、複雑なボタン操作

や、意味のない数字列を入力する操作は一切不要になる。また、磁気記録層31の情報記録密度は、一般的なバーコードによる情報記録密度に比べて大きいので、いわゆる名刺大の一般的な大きさの磁気カードにより、録画予約に必要な制御情報を十分に記録することが可能である。

【0025】録画予約に必要な制御情報を記録した磁気カードは、一般企業の広告用カードとして広く配布することが可能である。たとえば、磁気カードにより、図3に示すような番組広告用カード160を大量に作成し、磁気記録層161に、広告対象となる番組についての録画開始日時、録画終了日時、チャンネルといった制御情報を記録しておけば、この番組広告用カード160をリモートコントロール装置150に挿入するだけの操作で、当該番組についての録画予約を行うことが可能になる。番組広告用カード160は、コストが安価な磁気カードで作成されているので、一般視聴者にダイレクトメールの形で送付してもよいし、店頭や街頭などで不特定多数の者に配布するような形態を採ってもよい。また、磁気記録層161に記録しておくべき制御情報としては、たとえば、「毎週木曜日の8時～」とか、「平日の毎日6時～」といったように、繰り返し録画を指定する制御情報を用いることも可能であるし、現在普及している特定の数字列からなるコードを用いることも可能である。

【0026】なお、リモートコントロール装置150は、現在市販されているビデオ機器100に標準で添付されている一般的なリモートコントロール装置に、新たに情報入力部21などの部品を組み込むことにより、比較的低コストで提供することが可能である。すなわち、リモートコントロール装置150は、従来の一般的なリモートコントロール装置としての機能と、本発明に係るリモートコントロール装置としての機能とを兼ね備えた装置として利用できる。もちろん、本発明は、このようなビデオ機器100に対する制御だけでなく、たとえば、テレビジョン受像機に対する制御にも適用可能である。この場合、番組広告用カード160に記録された制御信号は、録画予約のための制御信号ではなく、視聴予約のための制御信号として機能することになる。

【0027】§3. インターネット端末機器に利用した実施形態

図4は、本発明をインターネット端末機器の制御に利用した実施形態を示す概念図である。この実施形態では、インターネット端末機器200として、WWWブラウザソフトウェアを組み込んだパーソナルコンピュータを用いた例が示されており、特に、インターネットを介してアクセス可能な特定のアドレス(URL)を、インターネット端末機器200に対して伝送するために、本発明に係るリモートコントロール装置250が利用されている。インターネット端末機器200は、モデムやターミ

ナルアダプタなどの通信装置を内蔵しており、公衆回線210に接続されている。したがって、WWWブラウザソフトウェアを起動すれば、公衆回線210を介してインターネット上のWWWを自由にアクセスすることができる。

【0028】この実施形態では、リモートコントロール装置250は、インターネット端末機器200としてのパーソナルコンピュータを操作するために用いるキーボード装置を兼ねている。インターネット端末機器200は、赤外線受光窓201を介して、外部から与えられる赤外線信号を受信する機能を有しており、リモートコントロール装置250は、この赤外線受光窓201に向けて、赤外線信号を送信する機能(図1における情報伝送部22としての機能)を有している。また、リモートコントロール装置250の本体部分(キーボード装置としての本体部分)には、図示のように、カード挿入口251が形成されており、ここに磁気カード30を挿入することができる。リモートコントロール装置250の内部には、カード挿入口251内に収容された磁気カード30の磁気記録層31から、制御情報を読み取るための磁気ヘッド(図1における情報入力部21に相当)が備えられている。

【0029】この実施形態では、ユーザが磁気カード30をカード挿入口251内に挿入すると、リモートコントロール装置250内部では、自動的に制御情報の読み取りが行われるとともに、リモートコントロール装置250から、赤外線受光窓201に向けて、磁気カード30から読み取った制御情報が赤外線信号として自動的に伝送される。このような機能をもったリモートコントロール装置250を用意しておけば、インターネット端末機器200に対するURLアドレスの入力操作は、非常に簡単に、かつ正確に行うことができるようになる。すなわち、ユーザは、予め特定のURLアドレスを制御情報として記録した磁気カード30を入手しておけば、この磁気カード30をカード挿入口251に挿入するだけで、このURLアドレスをインターネット端末機器200に入力することが可能になる。

【0030】URLアドレスに相当する制御情報を記録した磁気カードは、一般企業の広告用カードとして広く配布することが可能である。たとえば、磁気カードにより、図5に示すようなホームページ広告用カード260を大量に作成し、磁気記録層261に、広告対象となるホームページのアドレスを示すURLコードを制御情報として記録しておけば(この実施形態では、たとえば、「http://www.xyz.co.jp」といったコードをそのままASCIIコードの形態で、磁気記録層261に記録している)、このホームページ広告用カード260をリモートコントロール装置250に挿入するだけの操作で、当該ホームページへのアクセスが可能になる。ホームページ広告用カード260は、コストが安価な磁気カードで

作成されているので、一般ユーザにダイレクトメールの形で送付してもよいし、店頭や街頭などで不特定多数の者に配布するような形態を採ってもよい。

【0031】なお、リモートコントロール装置250から伝送されてきた制御情報を、インターネット端末機器200内部でURLコードと認識して処理するためには、WWWブラウザソフトウェア（および必要に応じて、パーソナルコンピュータのOSソフトウェア）に、赤外線受光窓201から入力された制御情報を、キーボードから入力される通常のURLコードと同等に取り扱うための処理機能を付加しておく必要があるが、このような処理機能は、いわゆる「WWWブラウザソフトウェア用のプラグインソフトウェア（機能を拡張するための付加的なソフトウェア）」の形式で提供するようにすれば便利である。

【0032】図6は、図5に示すようなホームページ広告用カード260の具体的な利用方法の一例を示す流れ図である。まず、ユーザは、ステップS1において、ホームページ広告用カード260を入手する。上述したように、ホームページの広告主は、種々の手段でホームページ広告用カード260を配布することができる。続いて、ステップS2において、ユーザは、インターネット端末機器200を用い、WWWブラウザソフトウェアを起動する。具体的には、パーソナルコンピュータの電源を入れ、インストールされている所定のインターネット用ブラウザソフトウェアを起動させることになる。次に、ステップS3において、ユーザは入手したホームページ広告用カード260を、リモートコントロール装置250（キーボード装置）のカード挿入口251へと挿入する。すると、ステップS4において、磁気記録層261に記録されていたURLコードが自動的に読み取られ、ASCIIコードとして、赤外線受光窓201へ向けて自動的に伝送される。一方、インターネット端末機器200側では、ステップS5において、起動中のWWWブラウザソフトウェアが、伝送されてきたASCIIコードをURLコードとして認識する処理が行われ、ステップS6において、このURLコードによってアドレスされる該当ホームページの提示が行われる。

【0033】かくして、ユーザは、煩雑なURLコードをキーボードから入力する操作を行うことなしに、目的とするホームページへのアクセスを行うことが可能になる。一方、ホームページの広告主側は、比較的安価な投資でホームページ広告用カード260を配布することができ、しかも、この配布によって、当該ホームページへのアクセス件数の増加が期待できるため、十分な広告宣伝効果を得ることができる。

【0034】なお、この実施形態では、図4に示すように、リモートコントロール装置250は、現在市販されている一般的なキーボード装置の筐体内に、新たに情報入力部21などの部品（磁気カードリーダ装置）を組み

込むことにより構成しているので、比較的低コストで提供することが可能である。すなわち、リモートコントロール装置250は、従来の一般的なキーボード装置としての機能と、本発明に係るリモートコントロール装置としての機能とを兼ね備えた装置として利用できる。もちろん、本発明を実施する上では、リモートコントロール装置は必ずしもキーボード装置に組み込む必要はなく、マウスや他の装置に組み込んでもかまわないし、単独の装置として用意してもかまわない。また、リモートコントロール装置250からインターネット端末機器200への制御情報の伝送は、必ずしも赤外線通信手段を用いる必要はなく、キーボード装置とパーソナルコンピュータとの間に設けられたケーブルなどを利用した有線伝送手段を用いてもよい。

【0035】以上、本発明をいくつかの実施形態に基づいて説明したが、本発明はこれらの実施形態に限定されるものではなく、この他にも種々の形態で実施可能である。要するに、カード状の情報記録媒体に記録されている制御情報を読み取って、これを制御対象となる機器へ伝送することができれば、情報記録媒体や制御対象となる機器としては、どのようなものを用いてもかまわない。

【0036】

【発明の効果】以上のとおり本発明に係るリモートコントロール装置によれば、カード状の情報記録媒体に記録された制御情報を読み取って制御対象となる機器へ伝送するようにしたため、複雑な制御情報であっても、容易かつ正確に、対象となる機器に入力することができるようになる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係るリモートコントロール装置の基本的な実施形態を示すブロック図である。

【図2】本発明をビデオ機器の制御に利用した実施形態を示す概念図である。

【図3】図2に示す実施形態に利用される番組広告用カード160の一例を示す平面図である。

【図4】本発明をインターネット端末機器の制御に利用した実施形態を示す概念図である。

【図5】図4に示す実施形態に利用されるホームページ広告用カード260の一例を示す平面図である。

【図6】図5に示すホームページ広告用カード260の具体的な利用方法の一例を示す流れ図である。

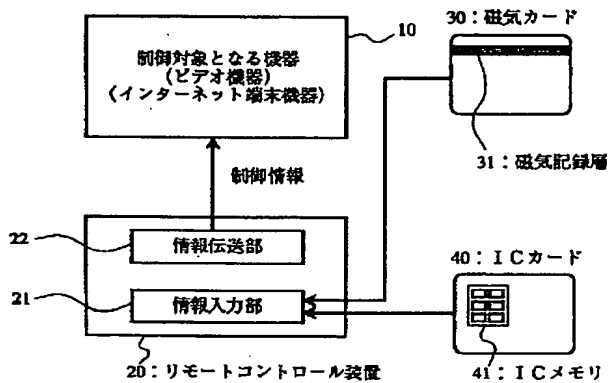
【符号の説明】

- 10…制御対象となる機器
- 20…リモートコントロール装置
- 21…情報入力部
- 22…情報伝送部
- 30…磁気カード
- 31…磁気記録層
- 40…ICカード

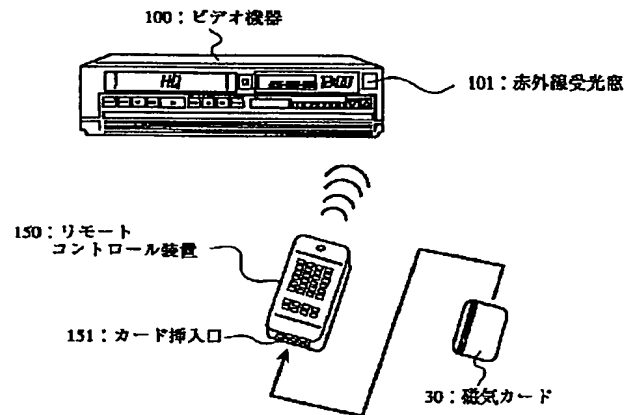
- 41…ICメモリ
- 100…ビデオ機器
- 101…赤外線受光窓
- 150…リモートコントロール装置（ビデオ機器用）
- 151…カード挿入口
- 160…番組広告用カード
- 161…磁気記録層
- 200…インターネット端末機器（WWWブラウザソフト

- トウェアを組み込んだパーソナルコンピュータ）
- 201…赤外線受光窓
- 210…公衆回線
- 250…リモートコントロール装置（キーボード装置）
- 251…カード挿入口
- 260…ホームページ広告用カード
- 261…磁気記録層

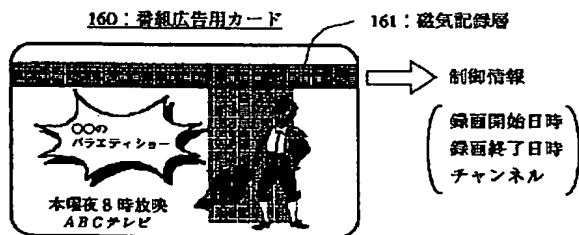
【図1】



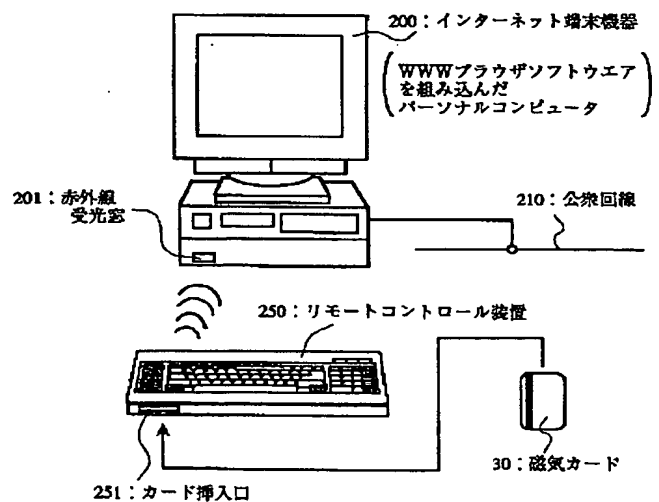
【図2】



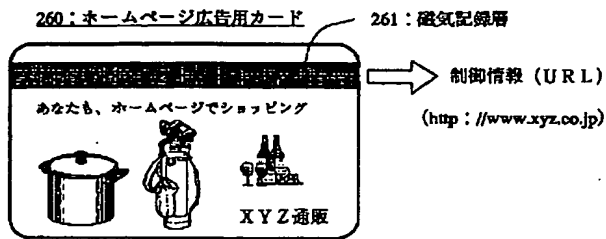
【図3】



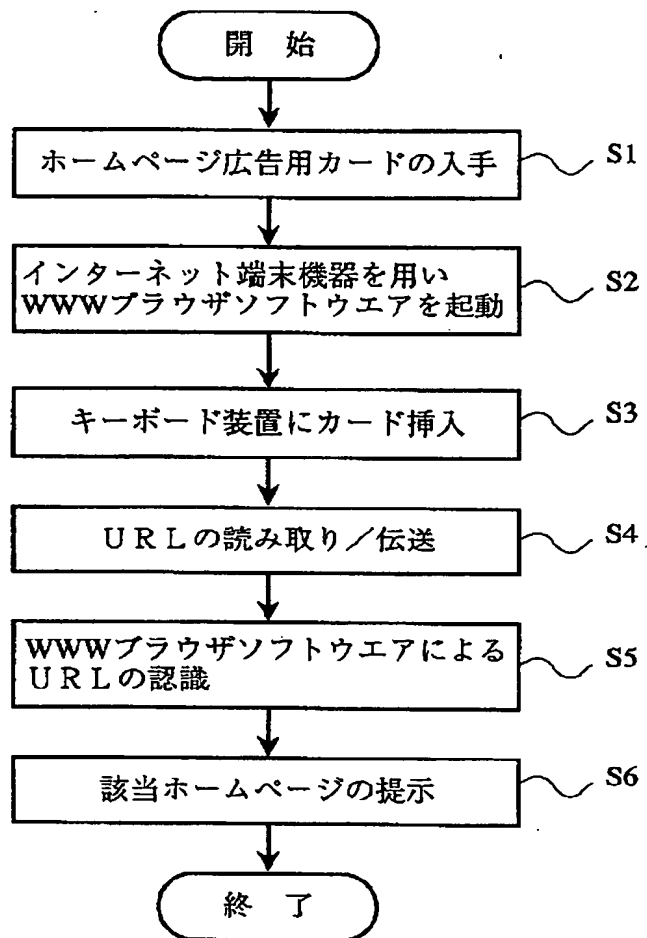
【図4】



【図5】



【図6】



フロントページの続き

(51) Int. Cl. 6

H 0 4 N 5/765

識別記号

F I

H 0 4 N 5/782

K

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☒ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☒ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.